

税理士・ITCとしての活動

全国IT推進研究会（税理士）

岡崎 拓郎



全国IT推進研究会事例創出部会長、税理士、ITC、MCSC、名古屋市立大学大学院経済学研究科研究員
現在は税理士業のかたわら、中小零細企業のIT導入支援等の中小企業支援に従事

ITCとしての悩み

みなさん、初めまして。税理士・ITCとして活動しています岡崎です。私がITCになって、早くも6年目を迎えました。当初、多くの税理士・ITCが共に学び、共に活動していましたが、最近ではその数も少なくなり寂しい限りです。そんな現在、私は地域の垣根を越えて、全国で活動している会計人ITCの会である「全国IT推進研究会」で、多くの仲間達と共に活動しています。

最近では、多くの諸兄の活躍により、税理士であるITCの持っているスキルについて多大な評価を頂くようになってきましたが、私がITCになった頃は、ITの世界が税理士・ITCに求める物と、税理士が持っている中小企業での経験がマッチせず、多くの税理士・ITCがその活動を止めてしまいました。私自身も、一時はITCを続けるべきかを悩んでいました。そんな中、

会計人ITCの会の立ち上げを知り、「全国IT推進研究会」に参加させていただき、改めて、税理士であるITCとして、無理せず、自分の出来ることをしながら、苦手な部分はITベンダさん達の助力を得て活動しています。

現場主義で

そんな私のITCとしての活動は、主に2本の柱からなっています。一つは、多くのみなさんと同じように、IT相談やIT導入プロジェクト支援、経営改善支援などです。私の基本は、とにかく「現場主義」です。社長さんの話を徹底して聞き、現場のパソコンをにらみ、帳簿類からメモに至るまで見させていただき、処理されている方の話を聞き、その会社ごとの特徴をつかみながら対処することを心がけています。私が得意としているのは小規模零細企業ですから、「ベストプラクティス」以前に解決しなければならない問題が山積みである場合がほとんどです。しかし、それを一気に解決するだけの人的、物的資本はありません。そのため、あるべき将来の姿を描きつつも、それぞれの企業で、先ず、何から改善していくかを経営者の方と共に考え悩みつつ、現場の状況や意見も取り入れながら、一寸ずつ進めていくケースが殆どです。そんな時にも、ITCとして身につけた知識は大変役立っています。

税理士・ITCとして

そして、もう一つは、税理士として既に関与している企業のIT化です。この場合は、既に会社の内容を熟知しているので、プロジェクトは進め易く、会社から相談を受けると、すぐにプロジェクトを進行させていきます。また、以前の私では気づかなかったことも、ITCとしての経験と知識のおかげで、IT化で実現できる経営改善なども自然と目に付くようになり、こちらからIT導入を提案することもあります。

全国の税理士であるITCのみなさんも、是非、その豊富な中小企業に関する経験を生かし、積極的に活動し、情報を交換しましょう。

そして、IT系のITCのみなさんも、私たちがITの問題で色々ご相談させていただくように、中小企業の事で困ったら、気軽にご相談下さい。